



## 第2回校内授業研究会レポート

○10月12日（木）、今年度2回目の校内授業研究会を行いました。今回の参観の視点は、「①個別最適な学びと協働的な学びの実施、②自由進度（生徒に任せる）の学びの実施、③探究につながる新たな問いを生徒につくらせる、④授業者が新たな一歩を踏み出す」としました。今回の坂中styleでは、それぞれの授業者から見た良かった点を中心にお届けします。

### 第3時限（1年家庭、3年国語、6・7組英語）

○導入でGoogleチャットを使って前時の復習を行いました。これまではGoogleフォームで行っていましたが、今回初めてGoogleチャットで行いました。内容を覚えていない生徒でも、他の生徒の書き込みを見ながら答えを導き出すことができていました。<家庭>

○論説文を批判的に読みとるため、グループでGoogle Jamboardを使ってまとめさせました。他グループのJamboardを参考にすることで、自分たちだけでは出ない意見や考えを参考にしながら自分の考えを深めていました。<国語>

○レストランで食事ができるように、Googleスライドで作成したメニュー表を見せながら活動させたり、おもちゃのお金を使って支払いのやりとりをさせたりしました。<英語>



### 第4時限目（1年美術、3年英語）



○レタリングした絵文字をクロムブックで撮影し、アプリ（描画キャンバス）で配色を確認できるようにしました。予めデジタルで試すことで色の組み合わせを数パターン考えられる生徒が多くいました。配色について仲間とアドバイスし合いながら見直すことを通して、効果的な配色を考えることができ、実際に絵の具で色を塗る過程では、これまで試した中で一番良いと思った配色で彩色していました。<美術>

○“人物辞典”として紹介したい人物を関係代名詞を使って説明するため、調べた内容をGoogleスライドにまとめさせました。自分の能力や希望に応じて英文の分量を考えさせたり、他者と相談して良い文章にしたりと生徒たちは①の視点ができていたと思います。<英語>（裏へつづく）

## 第5時限目（1年社会、3年社会）

○単元を貫く課題を「アジアをPRしよう」と設定し、本時は「中国の魅力をPRしよう」という課題で取り組みました。導入では中国に対する印象をテキストマイニングで視覚化しました。

その後、個人で中国の魅力を教科書や資料集、インターネットを活用させながら調べ、その内容をGoogleJamboardでまとめていきました。それとともに、Googleチャットで参考となる意見や他の生徒の進捗状況を共有させていきました。そして、調べた付箋は「農業・工業・歴史・文化・これからの課題・その他」という分類で整理させました。

授業の最後では、調べた内容をつなぎ合わせ、PRする文章をつくりました。それをグループで発表し合うことで、自分では気づかなかった中国の新たな魅力を知ることができていました。<1年社会>

○単元を貫く課題を「中学生としてできることを春日井市に提案しよう」と設定しました。本時は、その導入として、生徒たちに春日井市の現状や課題を考えさせました。



まずはグループでGoogleJamboard上に春日井市のまちづくりの要素（防犯や防災、交通の利便性、出産・育児など15種類）を自分たちが考える重要度ランキングで並び替えさせました。その後、それぞれの要素に対する満足度を考えさせ、散布図を作成させました。できあがった散布図をグループごとに発表させ、グループの意見を共有しました。

その後、春日井市が行った住民アンケートの結果から春日井市が4つの重要施策としていることを知りました。今後の授業では、春日井市の住民としての意見を市の担当部局に伝えていくため、地方自治の仕組みを学習しつつ、坂中学区としてどのような点を改善していったらいいか、プレゼンテーションしていきます。<3年社会>

## 研究協議会・全体会

○全体会では、はじめに、東京学芸大学の登本洋子先生に「探究」についてご指導いただきました。

小中学校には「総合的な学習の時間」があります。その目標に「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する（以下略）」とあります。与えられた課題を解決していく力も大切ですが、自分で課題を見つけていくために各教科で探究的な学習を行っていくとよいとのことでした。

また、探究学習を行う上では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」というシンキングサイクルを意識させるとよいということを改めて教えていただきました。そして、今後、各教科で探究をすすめていくため、上記のシンキングサイクル以外に、GoogleクラスルームやGoogleチャットを効果的に活用するとよいというお話をいただきました。

○また、春日井市教育委員会の望月指導主事から、自身が授業で実際に使用したGoogleクラスルーム・Googleスライド・Googleチャットなどを見せていただき、「実際にどのような場面で活用したか」「子どもたちの反応はどうだったか」などをご教授いただきました。

○次回の校内授業研究や発表会は以下の通りです。（教職員向けです）

☆第3回校内授業研究会      令和6年2月8日（木）

（文責・教頭）